

慶應大阪シティキャンパス(KOCC) 夕学サテライト講座《2020 年度前期》

KOCC「夕学サテライト講座」は、東京丸の内シティキャンパス(慶應MCC)で行う定例講演会「夕学五十講」のうちの一部講演を、インターネット回線を通じてライブ中継により、リアルタイムで受講するものです。

時間：18:30～20:30(開場18:00)

会場：慶應大阪シティキャンパス(KOCC)

個別申込1講演@1,550円※

※個別申込は、一度のお申込枚数5枚につき500円割引制度有。

*下記は2020/3/24現在調整中の予定です。事情により講演者・日程等が変更となる場合がありますことをご承知ください。

1. 講演スケジュール(予定)	開催日・講師名・タイトル	主催：慶應学術事業会
① 4/7(火) 内田 和成 右脳思考 ―観・感・勤のススメ―	⑥ 5/14(木) 高橋 孝雄 子どもを育む遺伝の力、環境の力	⑪ 6/9(火) 仲山 進也 組織にいながら、自由に働く。
② 4/14(火) 池田 新 世界を動かす力	⑦ 5/21(木) 田村 淳 ボクが慶應大学院で学ぶ理由	⑫ 6/18(木) 高橋 俊介 経営人材に必要なリベラルアーツ
③ 4/21(火) 山本 隆 現代の課題と未来	⑧ 5/22(金) 井上 達彦 ゼロからつくるビジネスモデル： 3つの基本アプローチ	⑬ 7/2(木) 清水 洋 イノベーションは社会を創るのか、 破壊するのか
④ 4/28(火) 秋元 雄史 部下の強みを引き出し、リーダーシップ	⑨ 6/2(火) 大室 正志 企業と個人の健全な関係	⑭ 7/14(火) 飯山 陽 イスラム2.0 ～イスラム理解のタブーを越えて～
⑤ 4/28(火) 秋元 雄史 アートとビジネスの交差点から 世界を考える	⑩ 6/5(金) 安永 雄玄 築地本願寺の経営改革 ～ビジネスマン出身僧侶のお寺改革～	⑮ 7/16(木) 仲野 徹 (あまり)病気をしない暮らし

2. 講演・講師紹介

日付の右横< >内は2020年度前期夕学講座の講座テーマです。

【お知らせ】夕学サテライト講座受付の一時休止につきまして 2020/3/24 更新

新型コロナウイルス感染拡大の現状を踏まえ、蔓延防止と受講生の皆様および関係者の健康および安全を最優先に考慮し、「夕学サテライト講座 2020 年度前期」の受講受付を、3月24日より開催の見込みが立つまでの当分の間休止いたします。(4月中の講演は開催中止が決定しております。)

なお、開催の見込みが立ち次第、受講受付を再開いたします。再開が決定し次第、本ホームページにてお知らせいたします。

急なお知らせとなり申し訳ございません。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

⑥ 5月14日(木) <人が変われば社会が変わる>

高橋 孝雄(たかはし たかお)

慶應義塾大学医学部小児科学教室 教授

子どもを育む遺伝の力、環境の力

遺伝の力と環境の力は、協同して健全な心とからだを作り、維持しています。遺伝子の力は、容易には変わらないことによって、子どもの成長と発達を底から支えます。一方、環境の力は、変化に富み、成長と発達を追い風のように後押しします。貧困や虐待などの逆風があとを絶ちませんが、温かい母性と強い父性に守られた豊かな育児環境は子どもたちを育む大きな力となります。これら二つの力を利して、我々おとなは子どもたちのために何ができるのか、美菜さんと一緒に考えてみたいと思います。

慶應義塾大学医学部卒。小児科を専門に選び、小児神経学を学ぶために渡米。マサチューセッツ総合病院小児神経科、ハーバード大学医学部などの勤務を経て研鑽を積み、2002年に慶應義塾大学教授(医学部小児科学)に就任。学内では、副病院長、医学部長補佐を歴任。学外では、小児科学会会長、国際小児神経学会理事、小児神経学会理事長などを歴任。36年にわたり、小児科医としてたくさん子どもたちに接して来られた高橋先生の言葉はとても説得力がある。また、ユーモアに富んだわかりやすい話、子育ての悩みをフツと軽くしてくれるようなものばかりと子育て世代から厚い信頼が寄せられている。著書『小児科医のぼくが伝えたい 最高の子育て』は注目の一冊に。

⑦ 5月21日(木) <この人に聞く>

田村 淳(たむら あつし)

ロンドンブーツ1号2号

ボクが慶應大学院で学ぶ理由

※本講演はトークショー形式の講演60分・質疑応答30分の構成を予定しています。

田村淳さんが慶應義塾の大学院に通っていらっしゃることをご存じでしょうか！

昨春から、慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科(KMD)で、なんと「死者との対話」をテーマに研究していらっしゃるそうです。ハフィントンポスト日本版の記事によれば、志望理由は「人は生きる上で、色んなことを主体的に選択する権利を持っています。でも、死に方については全然違う。そこに何とかアプローチしてみた

いんです」とのこと。テレビで大活躍される一方で、相方田村亮さんの復帰に向けても、力強い支援を表明し、その言動が注目される淳さんが「ボクが慶應大学院で学ぶ理由」を語ります。（慶應 MCC タ学五十講事務局筆）
1993 年、お笑いコンビ「ロンドンブーツ 1 号 2 号」を結成。『金曜★ロンドンハーツ』などテレビのパラエティ番組を中心に活躍。近年は、BSスカパー！『田村淳の地上波ではダメ！絶対！』や九州朝日放送『ロンブク☆淳』などキー局以外にも活躍の幅を広げる一方で、2019 年春より慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科（修士課程）で学びながら、米シリコンバレーでスタートアップ投資などを手がける会社「Be Blue Ventures, Inc.」を立ち上げるなど、精力的に活動されている。

⑧ 5 月 22 日（金） <インタングブル時代を考える>

井上 達彦（いのうえ たつひこ） 早稲田大学商学学術院 教授

ゼロからつくるビジネスモデル：3つの基本アプローチ

プロフェッショナルの世界では、よく「型破りはよくても、型無しでは話にならない」と言われます。ビジネスモデルづくりも同じで、顧客に価値をどのように届けるのか、そのつくりかたの基本がわかっていなければ話になりません。優れた経営者ほど、自身のスタイルをもっていて軸足がぶれることがないのです。この講演ではビジネスモデルづくりの3つの基本アプローチについて説明しインタラクティブに議論を深めていきたいと思います。

横浜国立大学経営学部卒業後、神戸大学大学院経営学研究科博士課程修了、博士（経営学）取得。広島大学社会人大学院マネジメント専攻助教授などを経て、2008 年より現職。独立行政法人経済産業研究所（RIETI）ファカルティフェロー、ペンシルベニア大学ウォートンスクール・シニアフェロー、早稲田大学産学官研究推進センター副センター長、特定非営利法人組織学会理事などを歴任。企業研修のコーディネーターや顧問なども引き受けるビジネスモデル研究の第一人者。著書『模倣の経済学』は中国、台湾、韓国、タイの4か国で翻訳されベストセラーに。

⑨ 6 月 2 日（火） <逆張りの経営論>

大室 正志（おおむろ まさし） 産業医

企業と個人の健全な関係

年功序列、終身雇用を軸とし家族主義と呼ばれた日本企業ですが、現代ではその在り様をドラスティックに変化させています。メンバーシップ型からジョブ型へ。この環境変化に心がついていかない。こんな方に多く出会います。ストレスの多くは期待値ギャップから生まれます。企業と個人が健全な関係を持つためには、その時代に合わせた適切な期待値を持つことは欠かせません。今回はこの辺りの話題についてお話できればと思います。

産業医科大学医学部医学科卒業。学生時代からビジネス誌を読むなど医学的な知識とビジネスを掛け合わせた医者の活動にひかれ産業医に。ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社統括産業医、医療法人社団同友会産業医室を経て、現在は約 30 社の産業医を担当。メンタルヘルス対策、インフルエンザ対策、生活習慣病対策など企業における健康リスク軽減にも従事する。著書『産業医が見る過労自殺企業の内側』は、延べ数万人の社員を診察し現場をよく知る大室先生だからこそ語ることができる、過労自殺の原因と対処をまとめた 1 冊として評価されている。

⑩ 6 月 5 日（金） <逆張りの経営論>

安永 雄玄（やすなが ゆうげん） 浄土真宗本願寺派築地本願寺 代表役員宗務長

築地本願寺の経営改革 ～ビジネスマン出身僧侶のお寺改革～

築地にある築地本願寺は、伝統仏教である浄土真宗本願寺派のお寺です。名前は知られていますが、実際に中に入って、本堂にお参りしたことのある人はあまりいません。かつて、日本人にとってお寺は、コミュニティの中心として非常に身近なものでした。しかし、家族制度が崩壊し、地方から都会への人口移動が急速に進むことによって、寺を中心としたコミュニティは崩壊し、東京を中心とする大都市圏では明確な宗教心を持たない、宗教的浮動層が大量に発生することになりました。こうした環境変化の中で、築地本願寺が取り組んでいる様々な事業を通じての新しい形の伝道布教活動について、過去 5 年取り組んできた活動をお話します。

東京生まれ。慶應義塾大学経済学部卒業。ケンブリッジ大学大学院博士課程修了（経営学専攻）。三和銀行（現三菱 UFJ 銀行）、外資系大手エグゼクティブ・サーチ会社ラッセル・レイノルズなどを経て、2004 年に島本パートナーズへパートナーとして入社。2006 年に亡きオーナーの後を継ぎ社長に就任。ビジネスの世界で活躍しながら、仏教の世界に入り得度。週末は知人の寺の副住職として法事等を務める生活を続けていた中、2015 年浄土真宗本願寺派の築地本願寺の宗務長に就任。400 年の歴史、伝統がある一方、保守的だった仏教寺院をビジネス視点で改革している。

⑪ 6 月 9 日（火） <人が変われば社会が変わる>

仲山 進也（なかやま しんや） 仲山考材(株) 代表取締役、楽天(株) 楽天大学学長

組織にしながら、自由に働く。

楽天社員（楽天大学学長）でありながらも、横浜 F・マリノスとスタッフとしてプロ契約を結んだり、自身が代表を務める仲山考材でチームビルディングの仕事を受けたりするなど、組織にしながら自由な働き方を 10 年以上続けている仲山氏。誰にでもあてはまる健全な働き方として体系的にフレームワーク化した「加減乗除の法則」や働く個人だけでなく組織マネジメント側にもあてはまる「仕事のモヤモヤが”夢中”に変わる働き方」のヒントを語っていただきます。（慶應 MCC タ学五十講事務局筆）

慶應義塾大学法学部法律学科卒業後、シャープ株式会社を経て、社員約 20 名の創業期に楽天株式会社へ入社。2000 年に楽天市場出店者の学び合いの場「楽天大学」を設立、E コマースのみならず、チームづくりや理念づくりまで幅広く支援。2004 年には「ヴィッセル神戸」の経営に参画。公式ネットショップを立ち上げ、ファンとの交流を促進するスタイルでグッズ売上げ

を増。2007年には楽天で唯一のフェロー風正社員（兼業自由・勤怠自由の正社員）となり、2008年には自らの会社である仲山考材株式会社を設立。2016～2017年にかけて「横浜F・マリノス」とプロ契約し、コーチ向け・ジュニアユース向けの育成プログラムを実施。その他、20年にわたって数万社の中小・ベンチャー企業を見続け支援しながら、消耗戦に陥らない経営、共創マーケティング、指示命令のない自律自走型の組織文化・チームづくり、長続きするコミュニティづくり、夢中で仕事を遊ぶような働き方を研究している。

⑫ 6月18日（木） <逆張りの経営論>

高橋 俊介（たかはし しゅんすけ） 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 特任教授

経営人材に必要なリベラルアーツ

今、リベラルアーツがビジネスパーソンの学びで注目されています。特に経営人材の議論で語られる事が多く、また今のような変化の激しい時代だからこそ重要性が増していると思います。リベラルアーツがなぜ重要なのか、どんな意味で重要なのか。今まで世界観ゼミナールという形で行ってきた勉強会の経験も踏まえて、具体的に様々な著作を引用しながらお話ししたいと思います。

マッキンゼー・アンド・カンパニー、日本法人ワイアット株式会社（現ウィリス・タワーズワトソン株式会社）を経て、現在は個人事務所を通じて、コンサルティング活動や講演活動を行いながら、慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特任教授として、湘南藤沢キャンパス（SFC）のキャリアリソースラボラトリーを拠点とした個人主導のキャリア開発キャリア開発、組織の人材育成についての研究に従事する。

⑬ 7月2日（木） <インタングブル時代を考える>

清水 洋（しみず ひろし） 早稲田大学商学学術院 教授

イノベーションは社会を創るのか、破壊するのか

イノベーションは、創造的な側面と破壊的な側面があります。持続的にイノベーションを生み出していくためには、この両方の側面を真剣に考えていく必要があります。本講演では、経営資源の流動性、企業の収益性、手近な果実も、格差などの観点からイノベーションの多面性を考えていきます。

1973年神奈川県生まれ。一橋大学大学院商学研究科修士課程修了。ノースウエスタン大学歴史学研究科修士課程修了。ロンドン・スクール・オブ・エコノミクスでPh.D.（経済史）取得。アイントホーフェン工科大学フェロー、一橋大学大学院イノベーション研究センター教授を経て現職。日本のみならず、アメリカ、イギリス、オランダの名門大学で研究を重ねてきた最新経営学のトップランナー。近著『野生化するイノベーション：日本経済「失われた20年」を超える』。

⑭ 7月14日（火） <機会とリスクの論点>

飯山 陽（いいやま あかり） イスラム思想研究者

イスラム2.0～イスラム理解のタブーを越えて～

東京オリンピック控え、日本でもイスラム教徒を見かける機会やイスラム教に関わる報道が増えてきました。一方でイスラム教についてはいまいち理解できない、腑に落ちないというご意見をよく伺います。本講演ではその原因とイスラム教の真相について解明しつつ、インターネットの影響などで大きく変わりつつあるイスラム世界の最新情勢についてお話しさせていただきます。

東京都生まれ。東京大学大学院人文社会系研究科博士課程単位取得退学。東京大学博士（文学）。専門はイスラム思想研究。モロッコへの留学やエジプトでの四年間に渡る研究経験を活かし、中東情勢やイスラムに関係する世界情勢の分析、モニタリング、リサーチを行う。また、アラビア語通訳としても活躍。いまもっとも旬なイスラム研究者として、WEBを中心に発信している。近著『イスラム2.0：SNSが変えた1400年の宗教観』は6刷3万部を突破。

⑮ 7月16日（木） <人が変われば社会が変わる>

仲野 徹（なかの とおる） 大阪大学医学部 教授

（あまり）病気をしない暮らし

誰だって病気になんたくはありません。しかし、絶対に病気にならない、などということはありません。一方で、病気になったとき、治療法の決定は自ら下さなければならない時代になりました。ですから、ある程度は病気のことを理解しておく必要があります。日本人の二人に一人が冒される「がん」を例に、どうして発症するのか、どのような治療法があるのか、そして、どうしたら予防できるのか、など、わかりやすくお話しします。

大阪生まれ。大阪大学医学部医学科卒業後、大阪大学医学部助手を経て、内科医から研究の道へ。ヨーロッパ分子生物学研究所（EMBL）客員研究員、京都大学医学部助手、同学部講師を経て、大阪大学微生物病研究所教授に就任。2004年より現職。医学博士。2012年には日本医師会医学賞を受賞。ナニワの病理学教授と親しみを持たれ、ユーモア溢れる文体でありながら知的好奇心と健康への意識を満たされる著書が話題。また、趣味の読書好きが高じて読売新聞の読書委員、ノンフィクションレビューサイトHONZ（<http://honz.jp/>）のメンバーも務める。